

泌尿器科学

はじめに

泌尿器科学は腎、尿管、膀胱、尿道などの尿路臓器と精巣、前立腺などの男性生殖器から発生する疾患の診断と治療を行う専門分野の一つである。高齢化社会に移行とともに前立腺癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、腎癌などの悪性腫瘍、前立腺肥大症や尿失禁などの排尿障害患者は増加傾向にあり、さらに尿路結石、尿路感染症などの重要な疾患がある。近年、内視鏡手術、低侵襲手術の進歩は著しく、臨床医は正しい泌尿器科学の知識を得る必要がある。

限られた期間で行われる泌尿器科の実習は、クリニカル・クラークシップ（診療参加型臨床実習）を導入し、効率よく行うことを目指します。その目的は「学生が実際の診療チームに参加し、その一員として診療業務を担当することによって、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶこと」です。指導医、病棟担当医、研修医、学生からなる屋根瓦式の医療チームの中で自らの役割を理解し、チームの一員として働くことができることを目標にしてください。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再認識し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 基本的泌尿器科疾患を受け持ち、病態、症候、診断、治療と予後を学ぶとともに、患者の診察に問題解決型思考を身につけることを目指す。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 問題志向型システム・科学的根拠にもとづいた医療を実践することができる。
- 2) 診療記録とプレゼンテーションを正確に行うことができる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、診療の計画を立案することができる。
- 5) 泌尿器科で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 泌尿器科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 指導医、病棟担当医、研修医、学生からなる屋根瓦式の医療チームの中で自らの役割を理解し、チームの一員として働くことができる。

【注意事項】

- 1) 診療チームに参加し、その一員として診療業務を担当するので、医師としてふさわしい態度と服装を心掛けてください。特に患者さんと接する際には実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 2) 守秘義務、個人情報の管理には常には留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。

3) 欠席、遅刻する際には、必ず事前に下記の緊急連絡先に連絡するようにしてください。

緊急連絡先 泌尿器科 梶原 充、TEL:082-254-1818, PHS 2516

【実習の内容】 大原 慎也 PHS 2563

実習形態：

- 1) 個々の学生の希望に応じて、病棟実習・外来実習を行います。
- 2) 個々の学生の態度・技能・知識の到達度、希望に応じて対応します。

受け持ち症例：

- 1) 泌尿器科で重要な疾患（腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、尿路結石、尿路感染症）を受け持つようにします。
- 2) 実習での不足分は、小講義で補うようにします。

病棟実習：指導医と行動を共にし、入院患者に対する全身及び局所管理が適切に行えるように、基礎知識と技術を養う。

- 1) 学生が診療チームの一員として患者の診療に参加し、指導医の指導・監視の下に診察、治療計画の策定、診療記録の記載、医療スタッフへの情報伝達、カンファレンスでの症例プレゼンテーションなどを行います。
- 2) 模擬カルテを配布するので、日々の診察記録を記載して下さい。模擬カルテの記載内容は指導医からチェックを受けるようにして下さい。
- 3) 個々の学生の態度・技能・知識の到達度と合わせてチーム内での役割を与え、能力が向上すればより進んだ役割へと移行します。
- 4) 受け持ち症例と関連づけたミニレクチャー、レポート提出も行うようにします。

外来実習：外来患者診察を適切に実施できる能力を養う。

- 1) 発症頻度の高い疾患の診察を、指導医の指導・監視の下に行います。
- 2) 指導医の監視の下に、初診患者に対して問診を聴取した後に、指導医の診察を見学し、適切な問診が聴取出来ていたかを確認します。
- 3) 指導医とともに患者の診察をします。

手術室実習：手術手技の基本を学び、泌尿器科疾患の手技について理解する。

- 1) 一般的な外科手術手技のみでなく、泌尿器科に特有な内視鏡手術を理解する。
- 2) 主治医と共に手洗いをし、手術を間近に見ることで泌尿器科疾患の病態に関する理解を深める。
- 3) 術前・術後の患者理解、周術期管理について習得する。

【週間スケジュール】

	行事, 等	担当	場所	時間
月	病棟回診 手術 外来・入院患者検査 体外衝撃波結石破砕術 泌尿器科カンファレンス	梶原 充 大原 慎也 梶原 充 大原 慎也 梶原 充	西病棟 5 階 手術室 泌尿器科外来・放射 線検査室・結石破砕 室 泌尿器科外来	8:30~9:00 9:00~12:00 13:00~16:00 16:00~17:15
火	病棟回診 手術	大原 慎也	西病棟 5 階 手術室	8:30~9:00 9:00~17:15
水	病棟回診 外来実習 外来患者検査、入院患者検 査、体外衝撃波結石破砕術 密封小線源治療	大原 慎也	西病棟 5 階 泌尿器科外来 放射線検査室 結石破砕室 密封小線源治療室	8:30~9:00 9:00~12:00 13:00~15:00 15:00~17:15
木	病棟回診 外来実習 外来患者検査、入院患者検 査、体外衝撃波結石破砕術 密封小線源治療	大原 慎也	西病棟 5 階 泌尿器科外来 放射線検査室 結石破砕室 密封小線源治療室	8:30~9:00 9:00~12:00 13:00~17:15
金	病棟回診 外来実習 体外衝撃波結石破砕術 手術	大原 慎也	西病棟 5 階 泌尿器科外来 結石破砕室 手術室	8:30~9:00 9:00~12:00 13:00~17:15

【評価】(配点計は 100 点)

評価項目	配点
出席	40 点
知識・技能	30 点
態度 (挨拶、言葉使いなどを含む)	30 点